

歴史総合

【はじめに】

歴史総合は昨年度から導入された新しい科目です。内容としては、近現代の歴史を日本史分野と世界史分野あわせて学ぶものです。基本的な知識等を身に着け、歴史上の出来事への理解を深めることは前提になりますが、資料を読み解く力や、知識を根拠として自分で合理的に論じることができる力を養っていきます。さらに自分で問題を設定して、それについて資料を集めてそれに基づいて追及する力をつけることが求められます。自ら前に出て学んでいく姿勢が求められます。

【授業を受けるにあたって】

予習：授業に先立って教科書をよく読んでおいてください。それをもとに、「明解歴史総合ノート」に取り組むとよいでしょう。そうしたうえで、自分の理解できた点、理解できなかった点を整理してみましょう。
復習：授業で学んだことを整理し直してみましょう。そうしたうえで、「明解歴史総合ノート」の論述や、教師から提示される課題に取り組んでみて、考えを深めましょう。

【観点別評価の方法】

- 知識・技能の習得（体系化、汎用性）
主に定期考査等によって判断します。
- 思考力・判断力・表現力の育成（思考力、判断力、表現力）
主に定期考査、特に論述問題の解答等によって判断します。
- 主体的に学習に取り組む態度（実践力、協働力）
主に歴史総合ノートやレポート、課題への取り組み等によって判断します。

【教材】

教科書：帝国書院「明解歴史総合」

副教材：帝国書院「明解歴史総合図説 シンフォニア最新版」

帝国書院「明解歴史総合ノート」